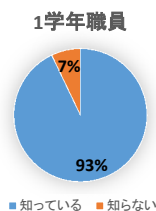
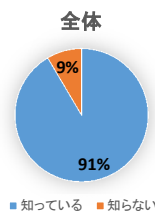


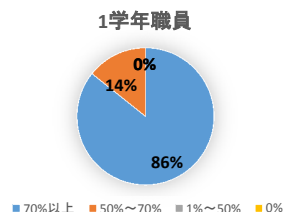
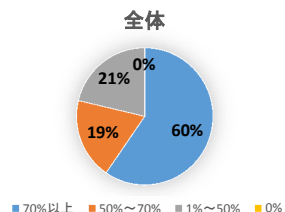
H29年度 職員による天草高校SSH意識調査アンケート集計結果

Q1:天草高校のSSH研究開発課題を知っていますか

H30.2月実施

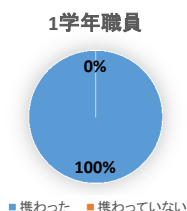
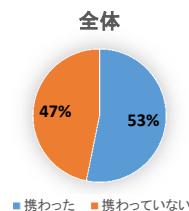


Q2:今年度のSSH事業をどの程度知っていますか

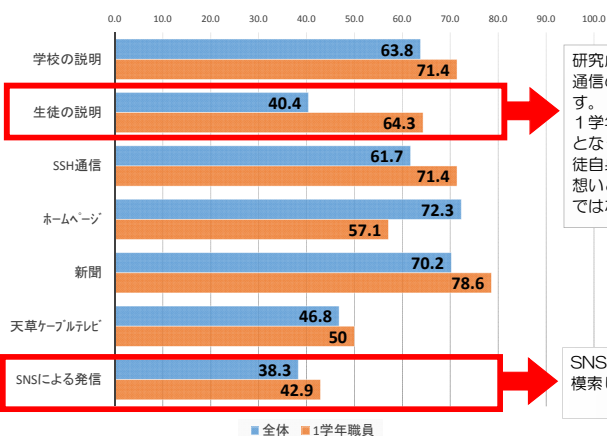


SSH事業に携わったと答えた先生方は次の通りです。
①AS I 担当者
②科学部顧問
③SSH研究部職員
全職員が携われる機会を多くするなど、体制を整えたいと思います。

Q3:SSH事業に携わりましたか



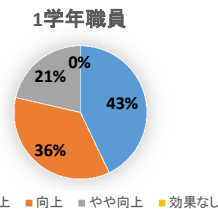
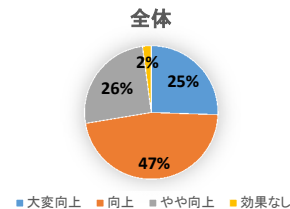
Q4:SSH事業成果の広報に有効であると思うもの(※複数選択可)



研究成果の広報はSSH事業に含まれます。SSH通信の数値が高く、発行して良かったと思います。
1学年職員は「生徒の説明」に対して高い数値となっています。これは、課題研究の内容を生徒自身が外へ発信することが大事であるという想いと、それだけの価値があると判断されたのではないかと分析しています。

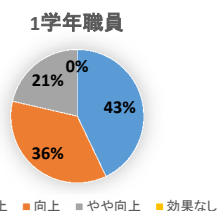
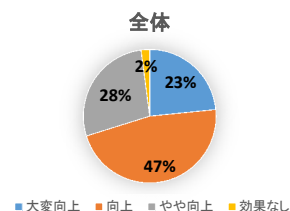
SNSによる発信は、効果があると思いますので模索します。

Q5:生徒の科学技術に対する興味・関心・意欲が増しましたか

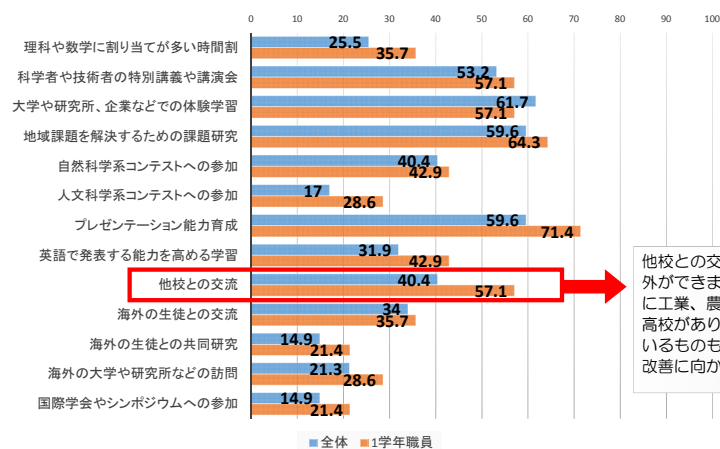


SSH事業が生徒の役に立っているかという問いを先生方目線で考えていただきたく質問しました。
事業に携わることで、生徒たちに良い効果が出ているといった結果と読み取れます。
特に、1学年職員の高い評価を得ることができました。連続講義や探究活動によって伸ばせる力だといえます。

Q6:生徒の科学技術に関する学習に対する意欲が増しましたか

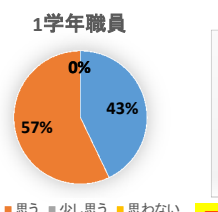
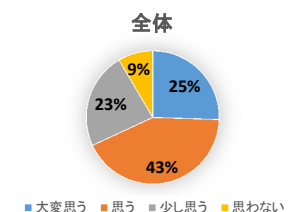


Q7:天草高校SSH事業に求めること



他校との交流は、発表会などでの交流以外ができませんでした。天草には、近くに工業、農業、食品、水産を専門とする高校があり、同じようなことを研究しているものもあります。この点は、来年度改善に向かいます。

Q8:SSHが指導力向上に役立つと思いますか



1学年職員は、AS I で初めて課題研究に携わった先生がほとんどでした。先行研究や仮説、検証、そしてプレゼンテーションと、私たち教師にとっても必要な取り組みが行われることで、自然と指導力向上が見込めるのだと思います。

回答への御協力ありがとうございました